

# 第 65 回全国保育問題研究集会 in 福岡



## かたらんね

実行委員会ニュース No.8

2026. 4. 26

**一次締め切り (5/7(木)) 迫る！！**

**申し込みをお忘れなく！！**

～5/7(木) : 7,000 円

5/8(金)～5/22(金) : 7,500 円



〈申し込みはこちら〉

## 特別講座の紹介【講座 A : 福岡の文化を語る】

「学校で一番調子のよか先生は誰かいな？」「そらあ、校長(好調)」  
このようなものが博多にわかの一口にわかです。ただし、博多にわかには単なる言葉あそびではありません。博多に伝わる話芸の郷土芸能です。

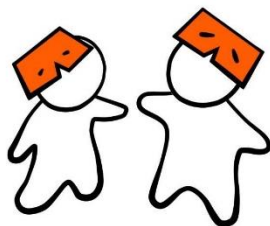
にわか歴史は古く、江戸中期の 1741 年頃～と言われており「俄(にわか)」と称して、その土地の方言で芝居の真似事などを演じるようになったことが始まりと言われています。陽気で明るい博多人は半面で顔を隠し、トンチの効いたオチを交えて世を風刺する「博多にわか」を生み出し、それが歴史と共に形を変えながら今日まで残りました。

講座ではにわかを見て、歴史を学び、実際に  
つくってみましょう。言葉の面白さやにわか魅力を感じ、楽しんでください！！保育はもちろん、きっと日常の話術のヒントにもなりますよ♪  
また、開会集会(6/12(金))でも博多にわかを見ていただけますので、そちらもお楽しみに！！

講師：志岐 らん梅さん(博多にわか振興会 副理事長)

「学校で一番調子のよか先生は？」

「そらあ、校長(好調)たい！！」



## 特別講座の紹介【講座 F : 災害について】

今年の 3 月 15 日で東日本大震災から 15 年の時が経過しました。近年は大地震による津波に加えて台風や線状降水帯による豪雨など、水害の危険性が増しています。この講座では水害に見舞われた二つの保育園の実体験や取り組みについて話していただき、水害への対応のあり方について学びを深めたいと思います。

水害にあった二つの園の一つ福岡県久留米市の大橋保育園は、近くの川の氾濫により床上約 1.4 メートルまで浸水しました。当時は臨時休園のため園児や職員は無事でしたが、建物内まで泥水が流入し保育室の床はめくれ上がり、ピアノも泥だらけとなって園内の設備はほぼ使えなくなりました。公民館や公立保育園で分散保育を行い、他園の保育士もそこで一緒に保育をすることで何とか対応を行い、時間をかけて日常生活を取り戻していきました。

東京都世田谷区のおひさま保育園はゲリラ豪雨に見舞われ床上浸水となり、保育中に 2 階へ避難をする事態になりました。その後園舎の建て替えがなされましたが、水害への対策を十分に行った作りとなっています。

このような事例を基に“子どもたちの命を守ること”“地域との繋がり大切さ”“自治体がとるべき責任”などみなさんと考え合いたいと思います。

報告者：草場 慎一さん(福岡久留米市・大橋保育園)

松沼 美樹さん(東京都世田谷区・おひさま保育園)



## 福岡探訪④(屋台)

福岡の夜の魅力一つと言えば、そう！！“屋台”です！！日本全国でも珍しく公的に認められており、ラーメンだけでなくおでん、焼き鳥、最近ではフレンチやバーの屋台まであります。見知らぬ人同士が肩を寄せ合って飲む一期一会は、福岡独自のコミュニケーションです。ぜひ、一度足を運んでみてくださいね♪

